

1 以下の文中の $\square{\text{ア}} \sim \square{\text{ト}}$ に適する 1 以上の整数を解答欄に記入せよ。なお、分数形で解答する場合は、既約分数で答えること。

問 1 3 以上の整数 m と実数 a (ただし, $a \neq 2$) に対し, x の m 次式 $(2x - a)^m$ を $(x - 1)^3$ で割ったときの余りを

$$(2 - a)^{m-2} \sum_{n=1}^3 P_n(m)x^{3-n}$$

と表すとき, m の 2 次式 $P_n(m)$ ($n = 1, 2, 3$) を平方完成した形で求めると,

$$P_1(m) = \square{\text{ア}} \left(m - \frac{\square{\text{イ}}}{\square{\text{ウ}}} \right)^2 - \frac{\square{\text{エ}}}{\square{\text{オ}}}$$

$$P_2(m) = -\square{\text{カ}} \left(m - \frac{\square{\text{キ}} - a}{\square{\text{ク}}} \right)^2 + \frac{a^2 - \square{\text{ケ}}a + \square{\text{コ}}}{\square{\text{サ}}}$$

$$P_3(m) = \square{\text{シ}} \left(m - \frac{\square{\text{ス}} - a}{\square{\text{セ}}} \right)^2 + \frac{a^2 - \square{\text{ソ}}a - \square{\text{タ}}}{\square{\text{チ}}}$$

となる。

問 2 **問 1** において, 数列

$$\frac{\square{\text{イ}}}{\square{\text{ウ}}}, \frac{\square{\text{キ}} - a}{\square{\text{ク}}}, \frac{\square{\text{ス}} - a}{\square{\text{セ}}}$$

は初項 $\frac{\square{\text{イ}}}{\square{\text{ウ}}}$, 公差 $\frac{\square{\text{ツ}} - a}{\square{\text{テ}}}$ の等差数列となる。また座標平面上の 3 点

$$\left(\frac{\square{\text{イ}}}{\square{\text{ウ}}}, -\frac{\square{\text{エ}}}{\square{\text{オ}}} \right), \left(\frac{\square{\text{キ}} - a}{\square{\text{ク}}}, \frac{a^2 - \square{\text{ケ}}a + \square{\text{コ}}}{\square{\text{サ}}} \right), \left(\frac{\square{\text{ス}} - a}{\square{\text{セ}}}, \frac{a^2 - \square{\text{ソ}}a - \square{\text{タ}}}{\square{\text{チ}}} \right)$$

が同一直線上にあるための a に対する必要十分条件は $a = \square{\text{ト}}$ である。

2 n を 3 以上の整数とする. 中が見えない袋の中に白球が n 個, 黒球が n 個, 赤球が 3 個入っており, 袋の中から 3 個の球を無作為に同時に取り出す試行を行う. 取り出した 3 個の球の色の種類が 2 である確率を p_n とする. また, 取り出した 3 個の球の色の種類が 2 であり, かつその 3 個の球に赤球が含まれない確率を q_n とする. このとき, 以下の各問いに答えよ. また, 以下の \square ア \sim \square サ に適する 1 以上の整数を解答欄に記入せよ. ただし, 分数形で解答する場合は, 既約分数で答えること.

問 1 数列 $\{p_n\}$ の一般項を求めると

$$p_n = \frac{\square \text{ア}}{\square \text{イ}} \frac{n^3 + \square \text{ウ} n^2 + \square \text{エ} n}{\left(n + \frac{\square \text{オ}}{\square \text{カ}}\right) \left(n + \frac{\square \text{キ}}{\square \text{ク}}\right) \left(n + \frac{\square \text{ケ}}{\square \text{コ}}\right)} \quad \left(\text{ただし, } \frac{\square \text{オ}}{\square \text{カ}} > \square \text{キ} > \frac{\square \text{ク}}{\square \text{ケ}} \right)$$

となる.

問 2 数列 $\{q_n\}$ の極限を $\alpha = \lim_{n \rightarrow \infty} q_n$ とすると, $\alpha = \frac{\square \text{コ}}{\square \text{サ}}$ となる.

問 3 **問 2** の α に対し, 極限 $\lim_{n \rightarrow \infty} \left(\frac{\alpha}{p_n}\right)^n$ の値を求めよ. 必要ならば自然対数の底の定義 $e = \lim_{n \rightarrow \infty} (1 + t)^{\frac{1}{t}}$ (ただし, t は実数) を用いてよい.

3 実数の定数 l は $l \geq \frac{\sqrt{6}}{2}$ を満たすとする. 四面体 $ABCD$ において, $AB = AC = BD = CD = l$, 辺 AB を $1:5$ に内分する点を L , 辺 BC の中点を M , 辺 CD を $5:3$ に内分する点を N とし, これら 3 点で定まる平面 LMN と直線 AD との交点を P とする. また, 点 P から平面 BCD に垂線 PH を下ろしたとき, $PH = \frac{l}{2}$ であるとする. $x = AM$ とおき, 四面体 $ABCD$ の体積を V とし, 以下の各問いに答えよ.

問 1 $\frac{PD}{AP}$ を求めよ.

問 2 x がとりうる値の範囲を求めよ. 答えのみでよい.

問 3 V を l と x を用いて表せ. 答えのみでよい.

問 4 l を固定して, $\overrightarrow{MA} \cdot \overrightarrow{MD} \geq 0$ かつ $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AD} \geq \frac{2}{3}$ を満たすように x を動かすとき, V の最大値 V_{\max} を求めよ.

4 関数 $f(x)$ ($x > 0$) は連続で, 第 1 次導関数 $f'(x)$ が存在して連続で, 第 2 次導関数 $f''(x)$ が存在し, かつ $f'(x) > 0$, $f''(x) > 0$ を満たすと仮定する. 座標平面において, 曲線 $C: y = f(x)$ 上の点 $A(t, f(t))$ における C の法線と, 点 $B(t+h, f(t+h))$ ($h \neq 0$) における C の法線の交点を $P(h)$ とおく. h を 0 に限りなく近づけると, 点 $P(h)$ が限りなく近づく点を P とする. また, 2 点 A, P 間の距離を $R(t)$ とおく.

問 1 点 $A(t, f(t))$ における C の法線の方程式を, $t, f(t), f'(t)$ を用いて表せ. 答えのみでよい.

問 2 点 P の座標を以下の形で求めよ.

$$\left(t - \boxed{\text{ア}}, f(t) + \boxed{\text{イ}} \right)$$

問 3 $R(t)$ を求めよ. 答えのみでよい.

問 4 以上の結果を用いて, 関数 $f(x) = \int_0^x \sqrt{e^{2t} - 1} dt$ ($x > 0$) に対して, 次の定積分 I の値を求めよ.

$$I = \int_{\frac{1}{2}}^{\log 2} \frac{1}{R(t)} dt$$